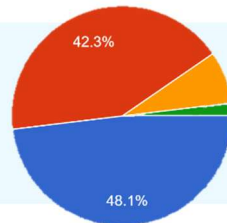




文化祭の活動を通じて、テーマである「柔軟に知恵を出し合い、目標に向けて粘り強くやり遂げる羽中生」が達成され、「主体性」「思考力」「協調性」といった力や姿勢が、お子様に育まれたと考えますか。

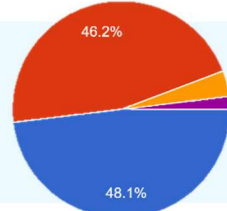


今号は写真もイラストもない、文字ばかりの紙面になっちゃいました…。読みづらくてすみません。

## 文化祭 保護者評価

- そう思う。
- まあまあそう思う。
- あまりそう思わない。
- そう思わない。
- わからない。

今年度の演目「学年合唱」「教室・フロア発表」「ステージ発表」について、実施数や内容は適当でしたか。



▶ 昨年も感じましたが生徒がステージ前席で良いと思います。漫才チームの声が聞こえづらくマイクがあったら良かったです。楽しい時間をありがとうございました。

▶ マイクとスピーカーが悪すぎて何を喋ってるのか聞き取りづらいです。改善して下さい。

▶ フロア発表の生徒の保護者は、ステージ発表の前に帰ってしまう人が多く、合唱の他にステージで全員参加のものが最後にあると、保護者も全員最後まで参観できるのではないかと思います。

▶ フロア部門が充実していて、運営してる生徒の接客もよかったと感じました。ステージ発表はたくさんの種類があって見応えありましたが、声の大きさや速さなどよりよくなるころはあったのかなと感じました。よいものになるようにみんなが一つになってる合唱は感動しました。

▶ コントの声が聞こえなかったのでマイク等あるといいなと思いました。全体的には皆楽しそうで、見る側も楽しめました！

▶ 教室フロア発表をもう少し時間を、長くしてほしい

▶ 初めて文化祭に行きました。生徒達の頑張りが伝わり、家族で楽しむことができました。小学生の子が「お菓子釣りがお菓子釣りじゃなかったのがおかしい」と言っていました。

▶ 各部門とも、生徒たちが一生懸命に、そして楽しそうに取り組んでいる様子が伝わってくる素晴らしい文化祭でした。

ショー部門では、コント・劇・ダンスなど、それぞれがやりたいことに挑戦している姿が印象的で、とても素敵だと思いました。劇については少し内容が分かりにくい部分があったので、簡単なあらすじや解説がプログラムに載っていると、より楽しめたのではないかと感じました。音楽部門もよくまとまっていて、練習の成果がしっかりと表れていたと思います。3人がキャットウォークで歌っていた演出も斬新で、とても良かったです。フロア企画についても、大人向け・子ども向けと対象に合わせた内容が考えられていて感心しましたし、「本気で遊ぶ」ことができてとても楽しかったです。特別支援学級の生徒さんによる、得意を活かした展示も素晴らしく、作者本人による案内を受けたり、解説が聞けたのも印象に残りました。また、客席の配置については、生徒さんたちが来場者をおもてなししようと考えて前の席を用意してくれたのかと思いますが、保護者が後方、生徒が前方でも良かったのではないかと思います。ステージに立たない生徒たちが客席で盛り上がって楽しんでいる様子も含めて見てみたかったというのが、個人的な感想です。

長文になってしまいましたが、それだけ感動が多く、伝えたいことがたくさんあった文化祭でした。とても楽しかったです。

▶ 今回は音響が小さくて寂しい気がしました。声を出す場面でも小さくて聞こえない場面もありました！来年は元気に楽しんで取り組んで行けることを期待しています。

▶ 学年合唱…順位をつけてほしいです。クラス数や生徒人数の減少は理解しています。が、人数を分けたり工夫して、クラス一丸となることや練習に練習を重ねて対抗心を燃やすこと、とても大事な思い出になると思います。ただの発表ではせっかくの合唱ももったいなく、生徒の力の入りかたもいまひとつと感じました。(私が羽中生の時の合唱は文化祭の目玉で、どの学年も優勝を狙ってすごい盛り上がりでした。練習期間中は色々な事が起こります。それも良い経験となり、3年時優勝を果たしたとき担任が泣いて喜んでいました。前校長先生です…笑)

教室フロア発表…生徒の頑張りを感しました。準備に多くの時間を割いたであろうに、40分で終わってしまうのがもったいなく感じました。お化け屋敷や迷路は子どもに大人気のため列ができ、回転率の悪さからいっても他の発表に行けなかったと嘆いてる子がチラホラ…。“ポロ”のお菓子への交換もできず回収されてしまったと言っていたので、その辺は改善の余地ありかと思います。大人向けに考えるのであればリサイクル市やフリーマーケットなんてどうでしょうか？

ステージ発表…内容に工夫を凝らしたことが感じられました。来年はどんなアイデアが出てくるのか楽しみです。年々生徒の盛り上がりが増しているように感じるので、保護者席と生徒席を入れ替えてもよいのでは？と思いました。ステージ間近で観覧出来ることはとても有り難いですが、後ろから盛り上がっている様子を見るのもまた良いものではないかと思います。主役たちがぜひ前へ！

総じて、とても良い文化祭をありがとうございました！キラキラ輝く羽中生、とても素敵でした！！

▶ 合唱で自由曲の他に課題曲などあれば楽しそうですね。

▶ フロア発表は並んでいるものもあって、小学生等はとても楽しく過ごせた様です。そのお陰か、少し時間が足りないかなと思いました。ステージ発表は、マイク無しだとやはり聞こえづらいので勿体ないです。主体性と先輩方主導で、と言う事で子供達が一生懸命考えたんだろうなと思える文化祭でした。

▶ 苫前中学校の文化祭では、イートインコーナーとソファを設置し、梅月と苫商コラボのパイを販売してそこで食べたりしていたそうです。フロアの時間が長いので、お年寄りに好評だったようです。

▶ フロアもステージどちらも子ども達が当日まで頑張ったり工夫したところが伝わり、何より楽しそうなのが、とても良かったです。また、総練習で先生達が合唱を披露してくれたことも、嬉しそうに話してくれ、大人の底力？楽しむ姿？を示してくれて感謝です。ありがとうございました。

▶ 子どもたちがとても頑張っているのは良くわかります。ただステージ発表全般、年々軽く薄くなっているように感じます。

▶ もっと見に来てくれる人が楽しめる文化祭になってほしいです。

# 文化祭保護者評価を受けて【校長の所見とお願い】

文化祭評価へのご対応、ありがとうございました。今回の文化祭や春の体育大会という大きな行事後、そして、学期末の学校評価に、これまでも保護者の皆さんから、たくさんのご感想やご意見をいただいております。本校の教育活動に対して興味・関心をもち、子どもたちのためにと考える保護者に支えられていることに、心から感謝しています。

子どもたちや先生方の取組を温かく認めてくださる評価、そして、「楽しかった」「素敵だった」など、ポジティブな感情を表してくださる感想など、保護者からの「満足した」という声は、我々にとって子どもたちの成長を感じることと同様に何よりもチカラになります。「よし！またガンバロー！」となるものです。

また、改善点や反省点などを指摘してくださる評価もいただきました。保護者としての願いや地域住民としての視点から見てくださり、私たち教職員が気付かなかったことを提案してくださるご意見もあり、本当にありがたい気持ちでいっぱいです。

これらを受けて、学校では次なるより良い取組に向けて、当然のごとく様々な改善策を練り直す所存です。ただし、行事には、いわゆる“完成形”や“天井”がありません。つまり、求めれば求めるほど、取組が雪だるまのように加算され、比例のごとく、子どもたちはもちろん、教員の負担は加速していきます。

ここからは、言い訳にも弱音にも捉えられるかもしれませんが、校長としての所見です。

かつて、現在の2倍も3倍もの生徒数だった頃に比べると、生徒同様に教員も減っており、これ以上的大がかりで、準備や練習に時間を要するような文化祭や体育大会を催すことは困難であり、すべきではないと考えています。現状は、約1週間前から特別時間割にして、給食後に帰りの会を済ませ、それぞれの部門が日常の放課後の時間まで活動します。もちろん、学校目標に準じて子どもの主体的な取組を基本とするためには、そこに至るまでの担当教員の綿密な準備やその場での臨機応変な指導・支援、過去の踏襲ができない細かい配慮事項など、様々な対応が求められます。

また、音響や照明などで満足いただけない場面が多々あったことをお見受けしますが、校舎や設備の老朽化によって、やむを得ない面もあることをご了承ください。

ただし、できない理由を見付けて前進しないわけではありません。子どもたちや保護者の願いが実現できるよう、可能な限り対応してまいります。そして、レベルの高い発表や展示を目指しつつも、何よりも大切にしたいのは、最上位目標（主体性、思考力、協調性）の達成です。行事が終わって「ウマくできた」とか「楽しかった」

のみでとどまることなく、『何を学んだのか』『何ができるようになったのか』『どこが成長したのか』や『最上位目標の達成に近づいたか』を振り返られるような取組にすることを重要視しています。今回も含め、必ずしも完成度の高い発表や展示ではなかったかもしれませんが、以上のことを少しだけでもご理解ください。

さて、ここからはお願いです。

今回のような保護者評価については、ご承知のとおり、オンラインにて実施しています。以前は、このような取組をする際、用紙に記入していただき、お子さんに持たせてもらっていたのが通例でした。しかし、オンラインにするとその手間を軽減させることができ、学校の集計作業の負担も格段に軽減できるようになりました。

本校がこの方式を記名式にした理由は、オンライン入力に当たっての懸念があったためでした。それは、昨今の世間でのSNSにおける誹謗中傷に似たような事態になってほしくなかったからです。SNSの誹謗中傷の原因は、匿名性によって記入者個人が特定されない安心感や、文字入力の方が紙への記入よりも罪悪感が薄れることにあると指摘されています。

つまり、この保護者評価を無記名式にすると、教員個人への誹謗や中傷、教育活動への非難や特定の生徒や家庭への批判などへのエスカレートがあるのではないかと危惧しています。決して皆さんを信頼していないわけではありません。しかし、今の情報社会を鑑みると、場合によっては取り返しのつかない事態にならないとも限りませんし、その事前防止が必要と考えました。

そのため、狭く限られた範囲内での学校への評価といえども、今後も皆さんには責任をもって記入していただきたいということをお願いいたします。「校長が何をエラそうに！」と厚かましくお感じになるかもしれませんが、何卒、ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、この評価方式は、お名前の欄に入力していただかないと送信できないシステムになっております。そのためか、そこに本名ではなく「無記入」や「無記名」という入力が、今回も含め過去にも数件ございました。せっかくご意見をおもちになり、送っていただいておりますので、ぜひお名前をお知らせください。必要に応じて、個人的にご返答することもやぶさかではありません。

しかし、個人名を明らかにすることを遠慮したいとの感情も分からなくはありません。場合によっては、話しやすい教職員にお電話くださったり、直接校長や教頭にお伝えいただいたりしても構いません。今後も子どもたちの豊かな学びのために、皆さんからの忌憚のないご意見や様々な感想等をよろしくお願いいたします。

基本的に、今後もお寄せいただいたご意見等はこの紙面にてご紹介するつもりでいます。ただし、記名のないもの、記入した方が特定できそうな内容、また、生徒や教員、他の保護者や家庭に対して個人的に批判するような内容がある場合は割愛するようにします。